

やまがた“地域の農地を活かし、担い手を応援する”活動

れいわスタートダッシュ

～進捗状況共有シート 集計・分析～



令和3年2月

一般社団法人山形県農業会議



目次

1 人・農地プラン、れいわスタートダッシュについて

2 進捗状況共有シート

- (1) 進捗状況共有シートについて
- (2) 全国集計結果・分析（様式1）
- (3) 全国集計結果（市町村別集計）・分析（様式1）
- (4) れいわスタートダッシュ集計結果・分析（様式2・3）

3 まとめ

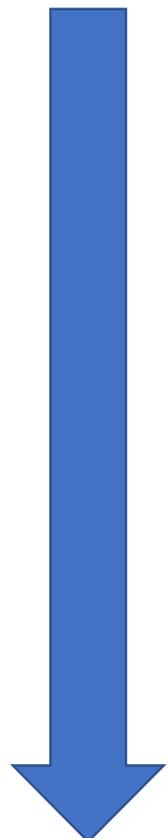
1 人・農地プラン、れいわスタートダッシュについて

人・農地プランとは？

人・農地プランとは、農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心的経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村により公表するもの
(農林水産省HPより抜粋)

- **令和3年3月31日までにプランを実質化することが必要**
- **農業委員会の協力、農業委員及び農地利用最適化推進委員の話し合いへの出席が法律により明確化・重点化されている！！！！**

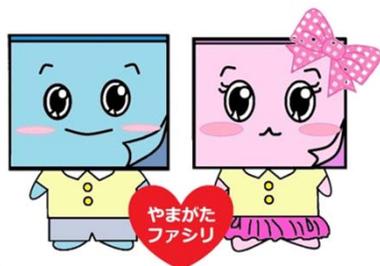
人・農地プランの実質化と実行へ 地域の農業をより良くする5つのステップ



ステップ1	推進体制の整備・アンケート調査（意向把握）
ステップ2	アンケート結果からの地図化（現況把握）
ステップ3	話し合い活動の実施
ステップ4	「人・農地プラン」の決定・実質化（方針決定）
ステップ5	「人・農地プラン」の実行

れいわスタートダッシュとは？

山形県農業会議では、各市町村の担当部局が中心となって進める「人・農地プランの実質化」に農業委員会が一体となって取り組むため、全国農業会議所が展開する「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」と連動して、「やまがた“地域の農地を活かし、担い手を応援する”活動」～れいわスタートダッシュ～を実施している。



ふせんくんとふせんちゃん

市町村担当部局と 農業委員会の活動

- ステップ1 推進体制の整備・アンケート調査(意向把握)
- ステップ2 アンケート結果からの地図化(現況把握)
- ステップ3 話し合い活動の実施
- ステップ4 「人・農地プラン」の決定・実質化(方針決定)
- ステップ5 「人・農地プラン」の実行

農業会議の支援

情報の収集・分析・提供

話し合い活動を支援
「人材育成・研修会」

今後、人・農地プランの「実質化」そして「実行」に向けた話し合い等、地域農業の持続発展への伴走支援を予定

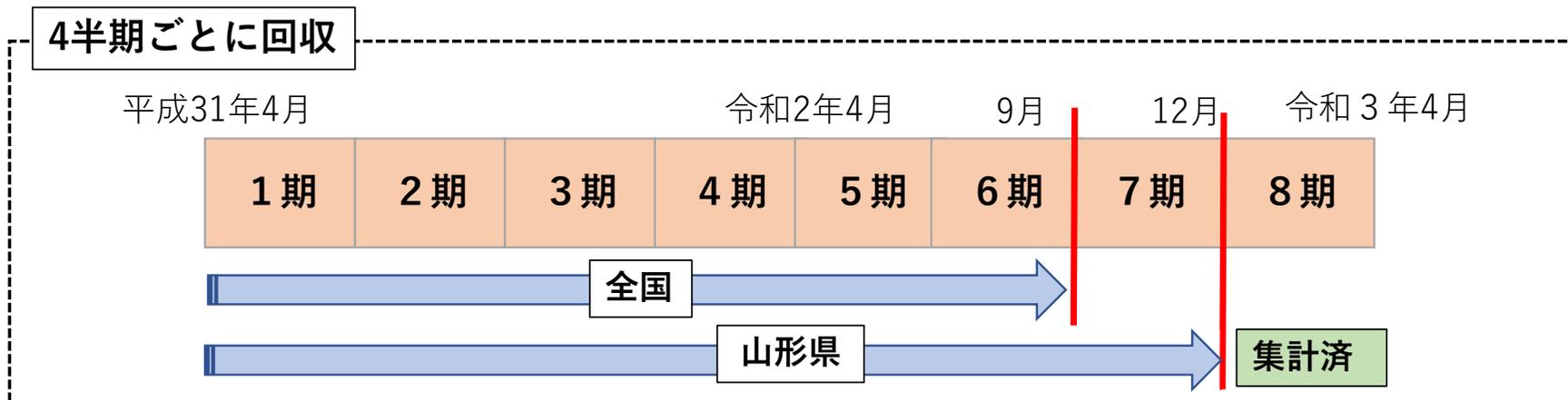
**進捗状況共有シートにおける
状況把握と分析が重要！！**

2 進捗状況共有シートについて

(1) 進捗状況共有シートについて

進捗状況共有シート

平成31年4月～令和3年3月まで、農業委員会での農地利用の最適化活動の状況を把握する。



(2) 全国集計結果・分析 (様式1)

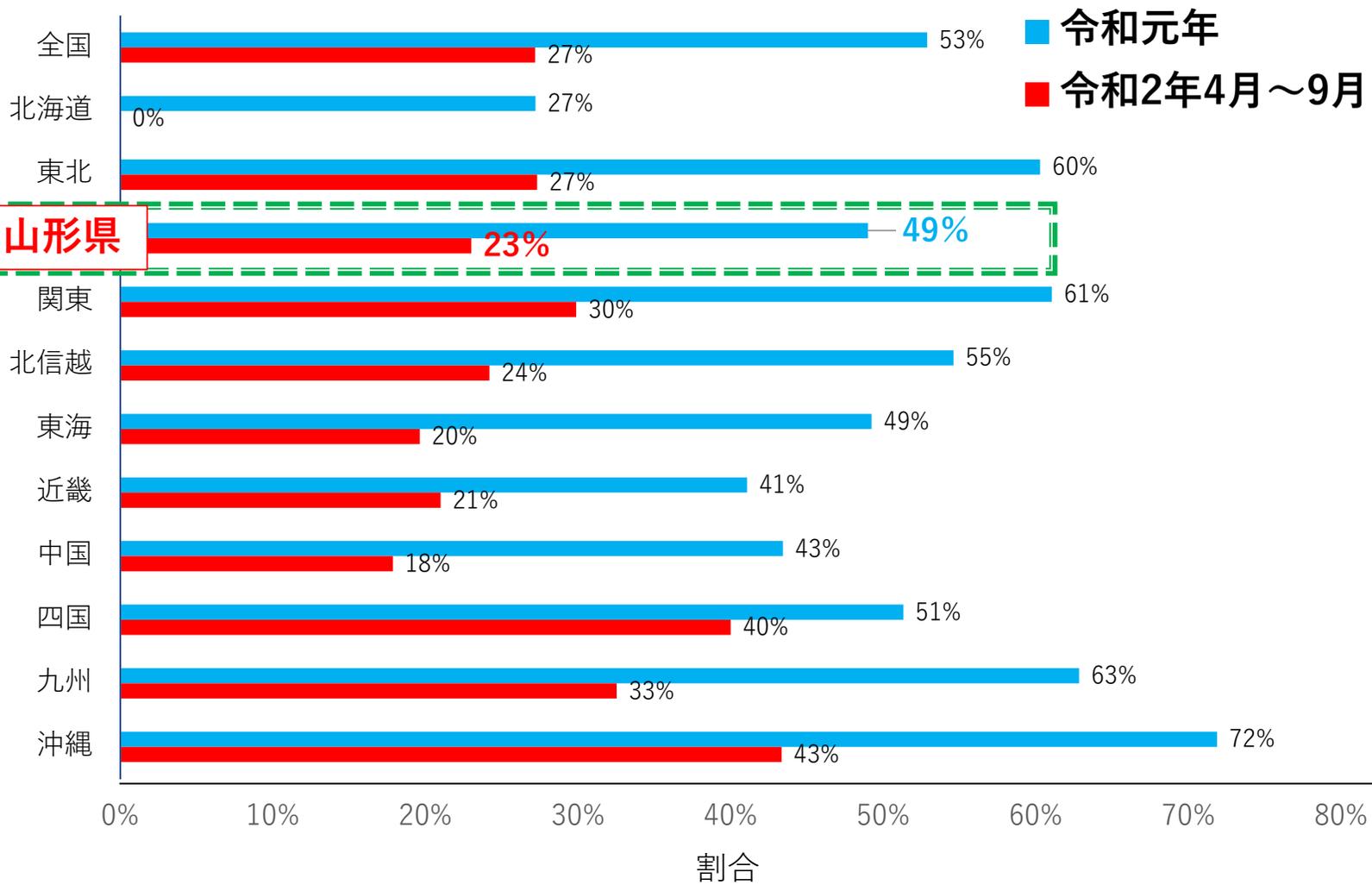
全国集計

(平成31年4月～令和2年9月)

進捗状況共有シート「様式1」部分より

- ・ 意向把握を実施している農業委員会の割合
- ・ 意向把握の方法
- ・ 意向把握の対象者
- ・ 話し合いに委員が参加した農業委員会の割合
- ・ 話し合いで農業委員・推進委員が担った役割

○ 意向把握を実施している農業委員会の割合 (令和2年12月17日時点まで提出分)



【状況と分析】

令和元年、全国的には約半数以上の農業委員会が意向把握を実施している。

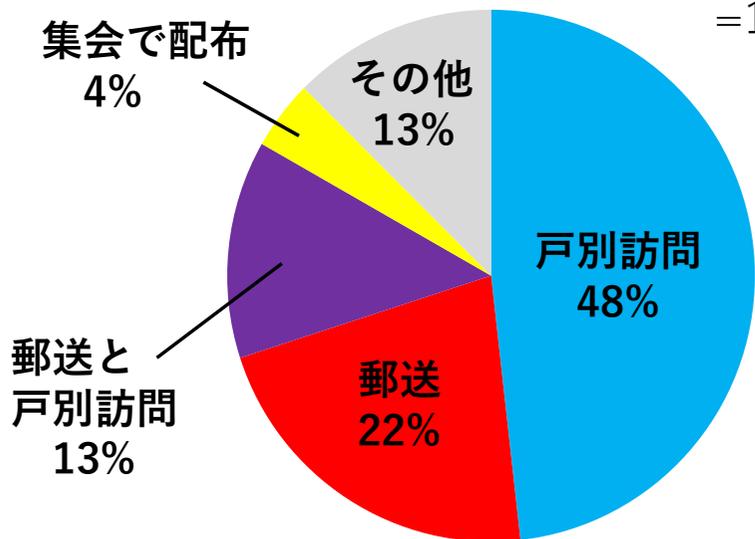
山形県は、全国平均には近いが、東北平均よりはやや低い。

○ 意向把握の方法 第1期～第6期通算（※重複あり）



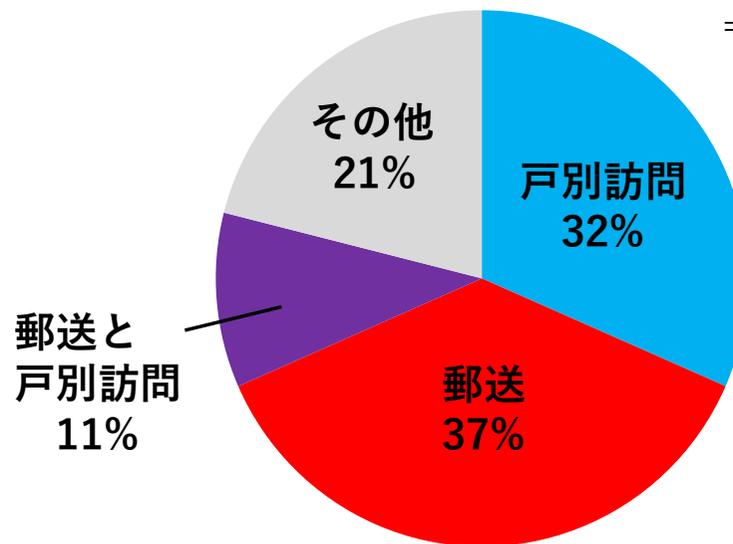
全国

委員会数
=1970



山形県

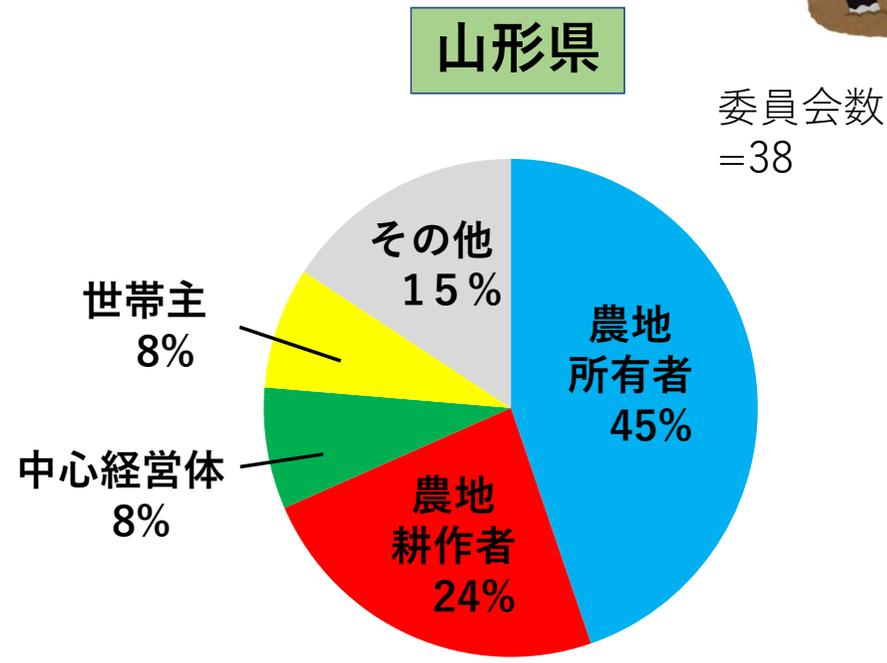
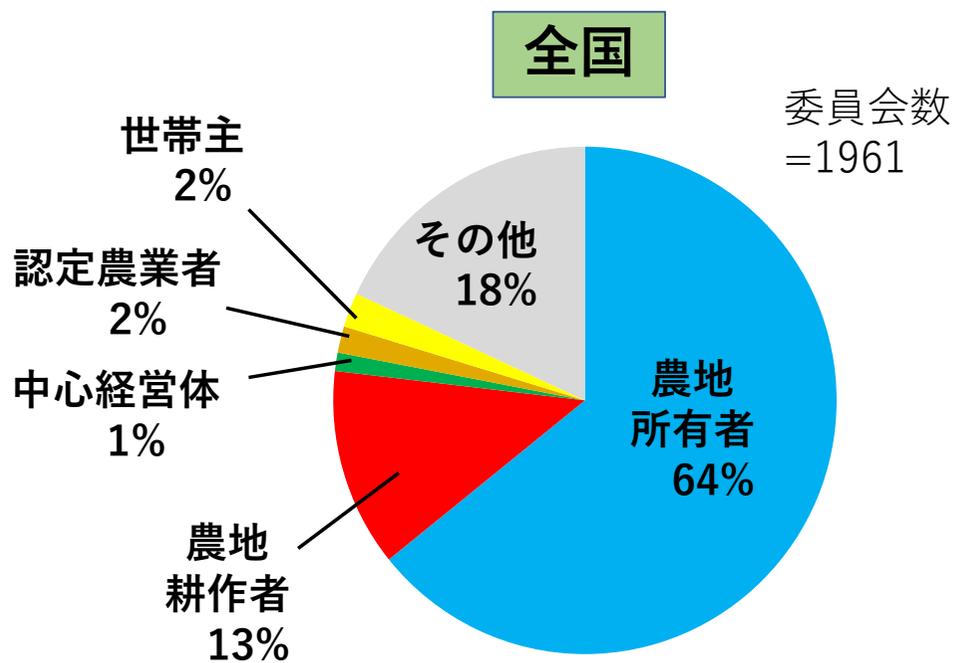
委員会数
=38



【状況と分析】

意向把握の方法は、個別訪問と郵送が多数を占めている。単一の方法ではなく、郵送と戸別訪問を組み合わせで行っているところもある。

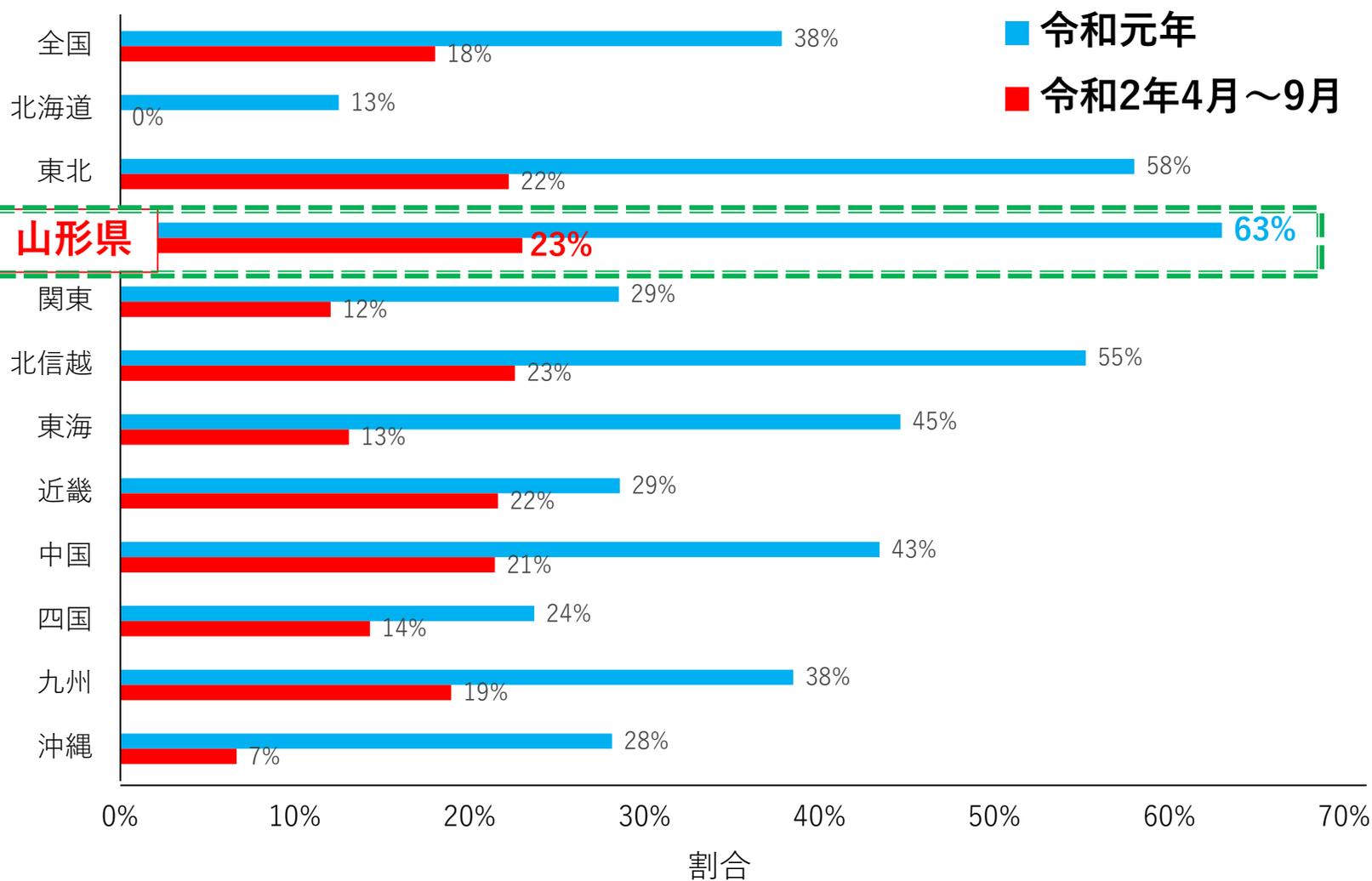
○ 意向把握の対象者 第1期～第6期通算(※重複あり)



【状況と分析】

意向把握は、農地の所有者に対しての意向調査が最も多くなっている。次いで、農地の耕作者が多くなっている。（所有者と耕作者では意向が違う場合もあるので、注意が必要）

○ 話し合いに委員が参加した農業委員会の割合 (令和2年12月17日時点まで提出分)



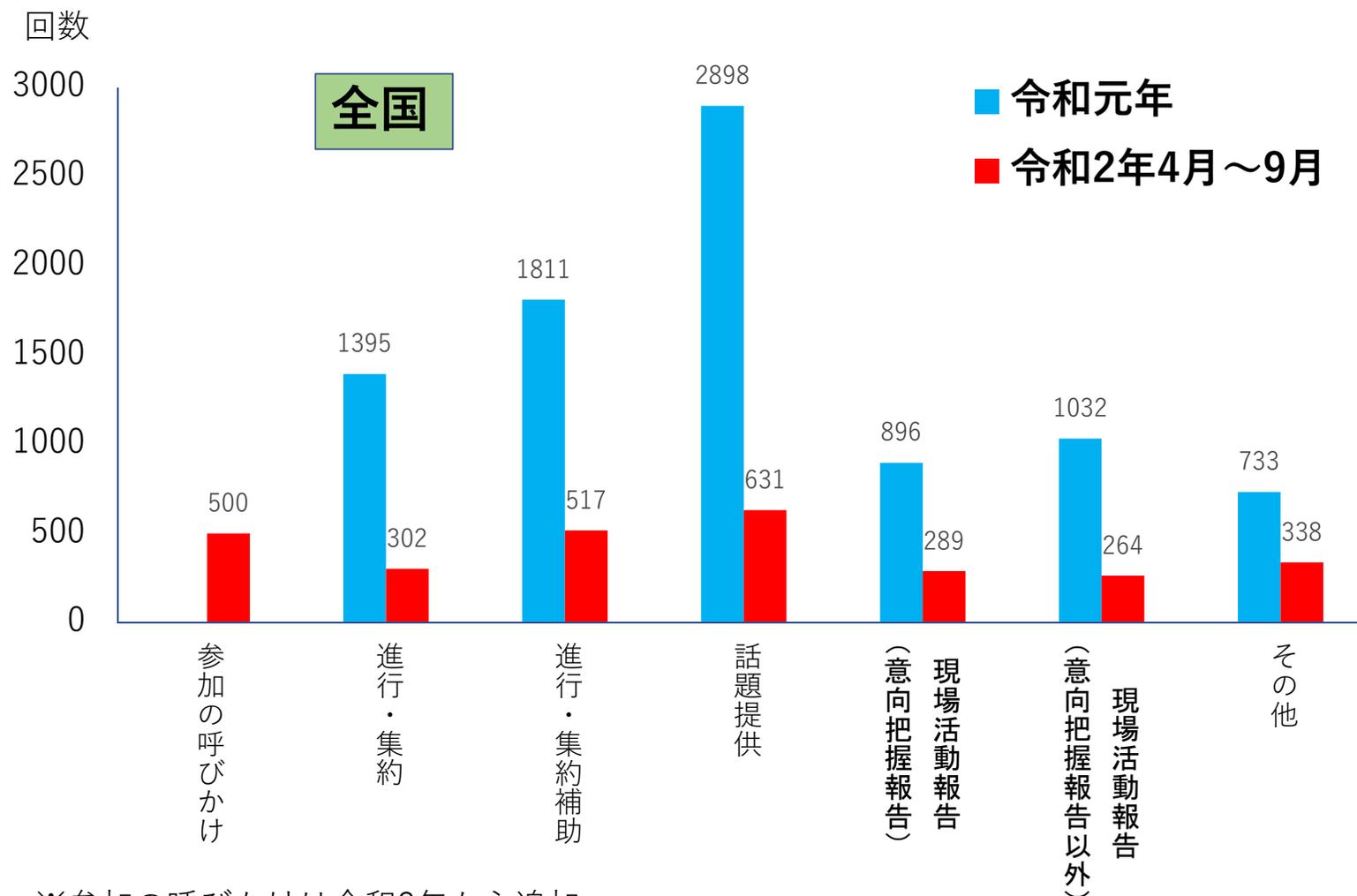
【状況と分析】

令和元年、令和2年ともに、山形県は全国でも委員の参加率がトップクラスになっている。

→この調子で地域の話し合いに積極的に参加しよう!!

○ 話し合いで農業委員・推進委員が担った役割

(令和2年12月17日時点まで提出分)
 ※R1=558委員会、R2=212委員会



【状況と分析】

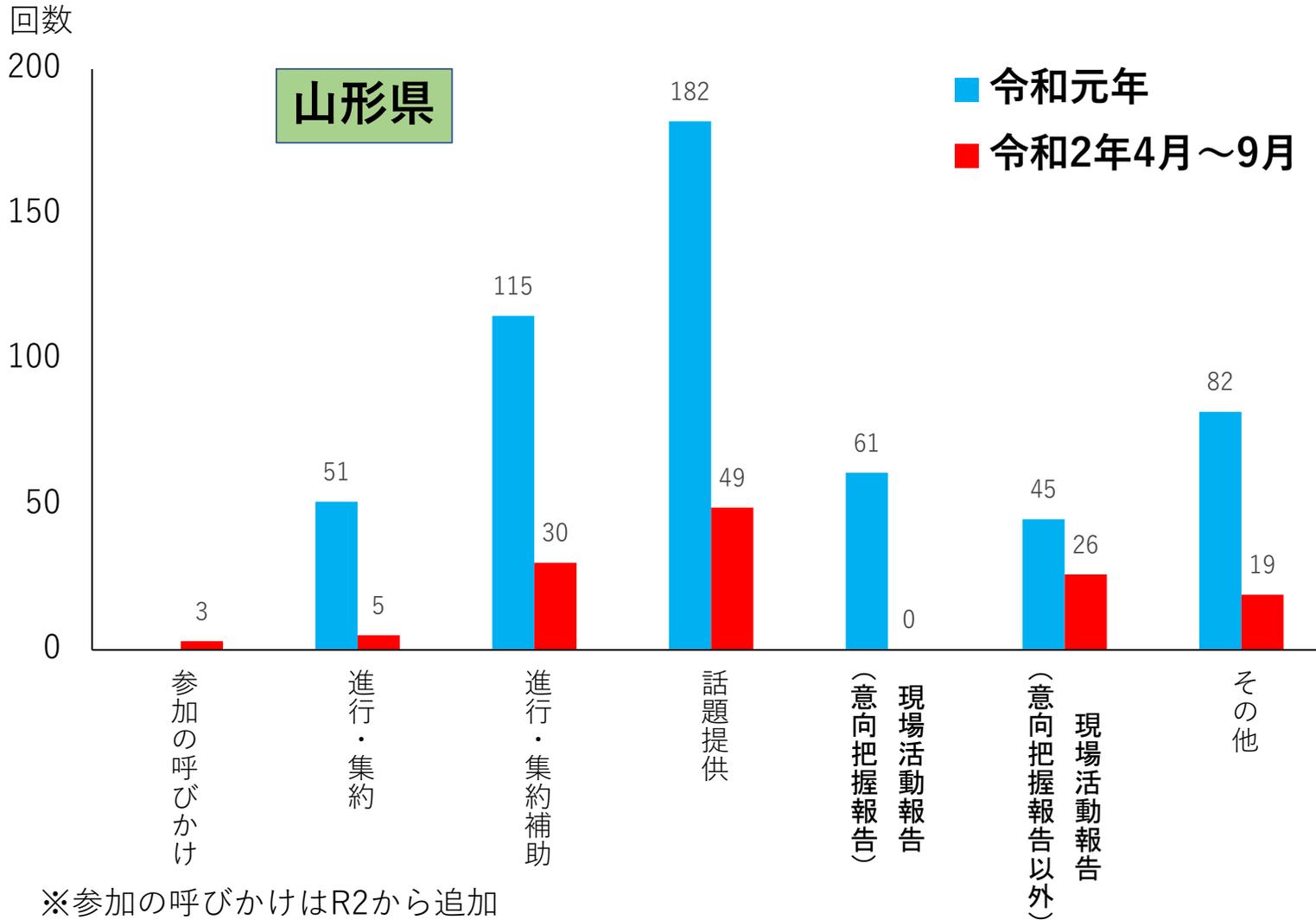
全国的には、話題提供が最も多い。次いで進行・集約に関する役割が多くなっている。

令和2年は第2四半期までの集計なので、数は少ないが、役割の傾向は同じである。

※参加の呼びかけは令和2年から追加

○ 話し合いで農業委員・推進委員が担った役割

(令和2年12月17日時点まで提出分)
 ※R1=22委員会、R2=8委員会



【状況と分析】
 山形県でも話題提供の役割が最も多くなっている。
 進行・集約に関する役割を担う割合は、全国よりも低くなっている。

(3) 全国集計結果（市町村別集計）・分析（様式1）

市町村別集計

（平成31年4月～令和2年12月）

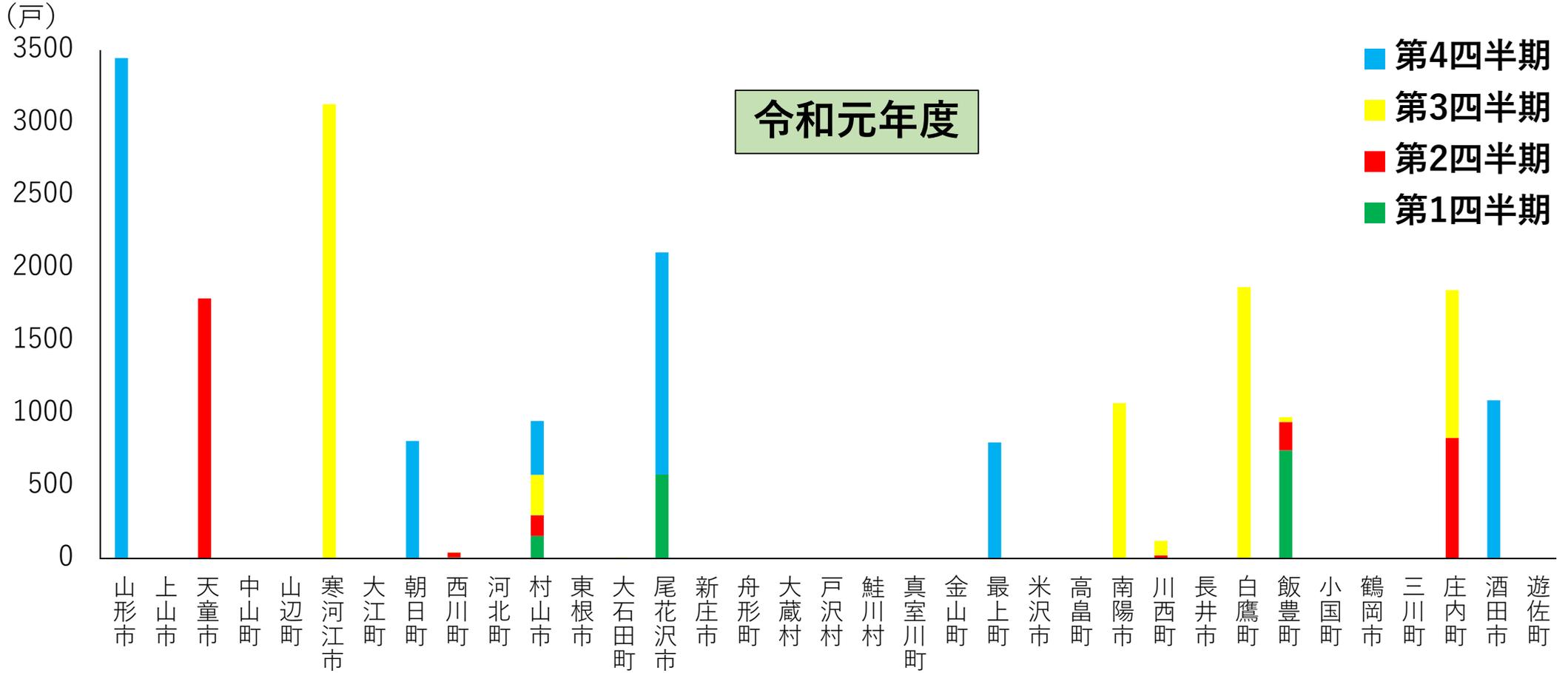
進捗状況共有シート「様式1」部分より



- ・ 意向把握の実施状況
- ・ 話し合いの回数
- ・ 委員の参加人数

○ 意向把握の実施状況

※郵送や戸別訪問など全ての合計（把握できた数）



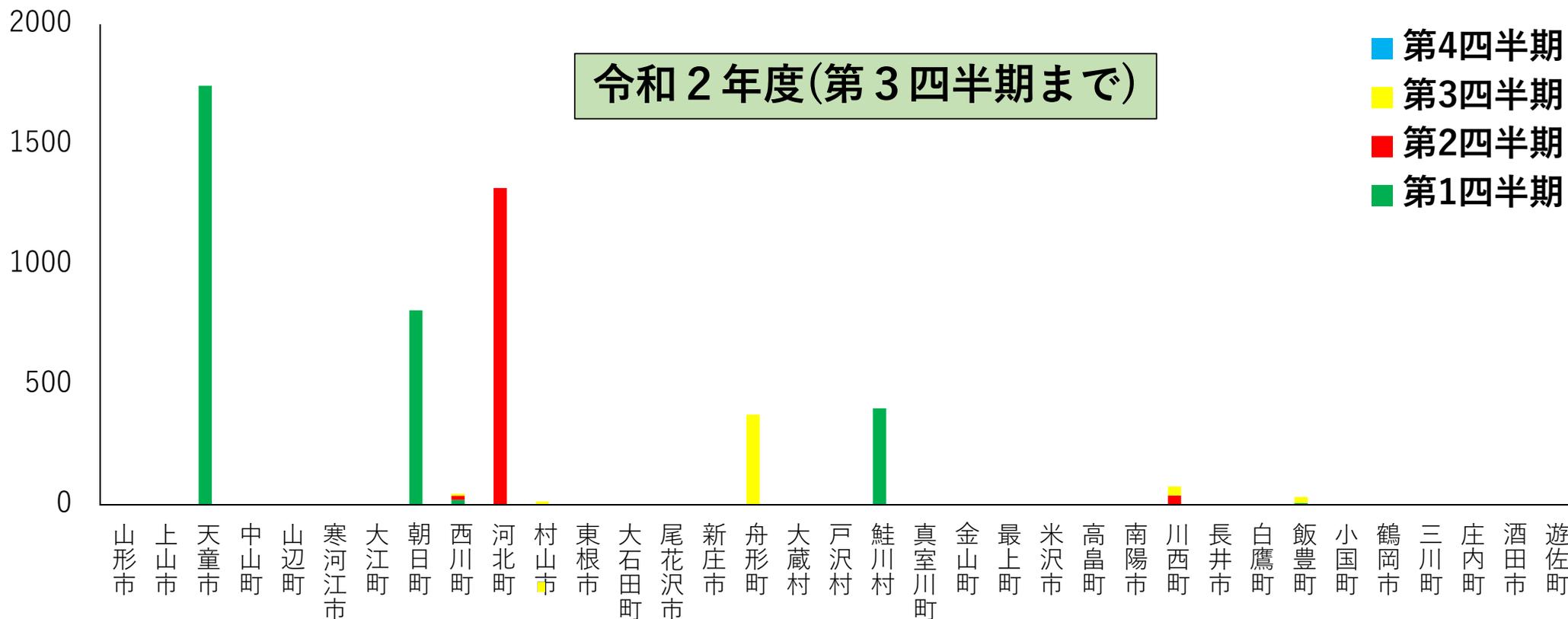
【状況と分析】

人・農地プランの実質化の要件、意向把握を着実に実施している。実施時期については市町村によってバラバラである。

○ 意向把握の実施状況

※郵送や戸別訪問など全ての合計（把握できた数）

(戸)

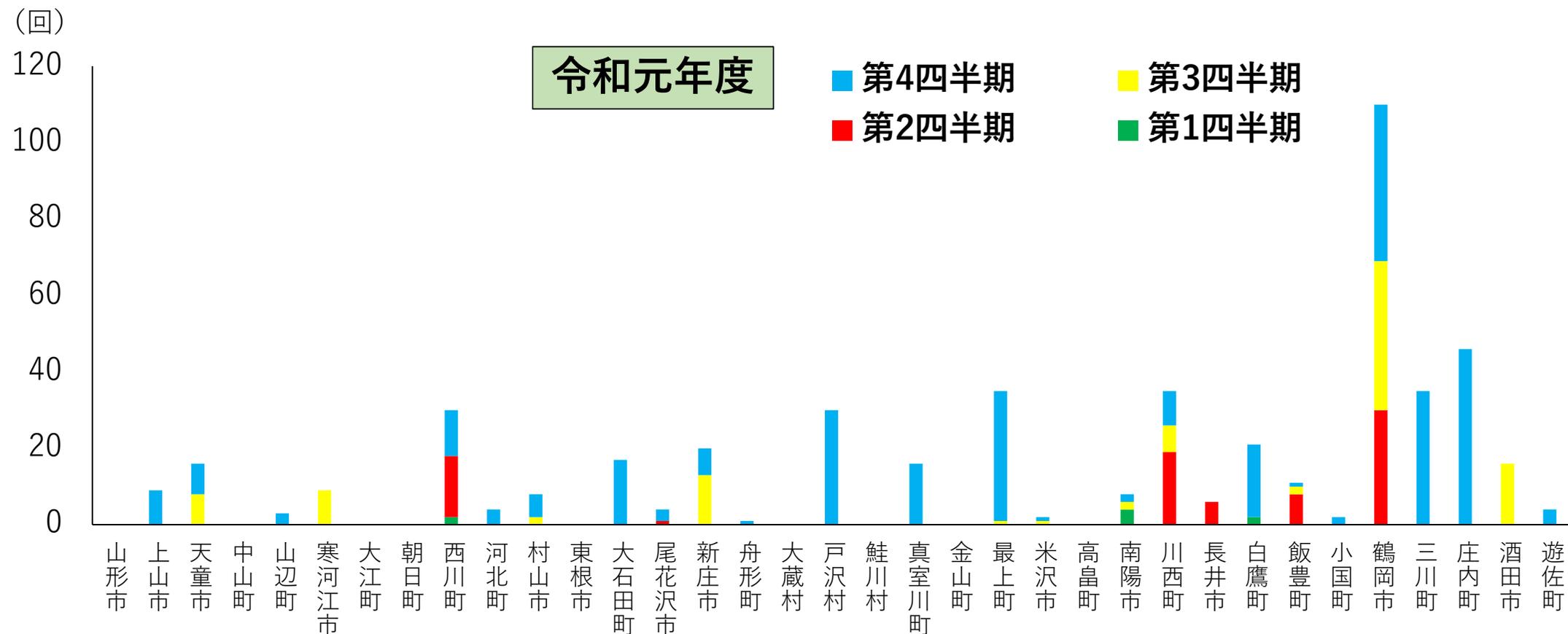


【状況と分析】

令和2年度は、元年度よりは少なくなっているが、実施している市町村も複数ある。令和2年度は第3四半期までの集計であること、元年度に実施した市町村もあるので少なめになっていると考えられる。

○ 話し合いの回数

※開催の合計（重複あり）

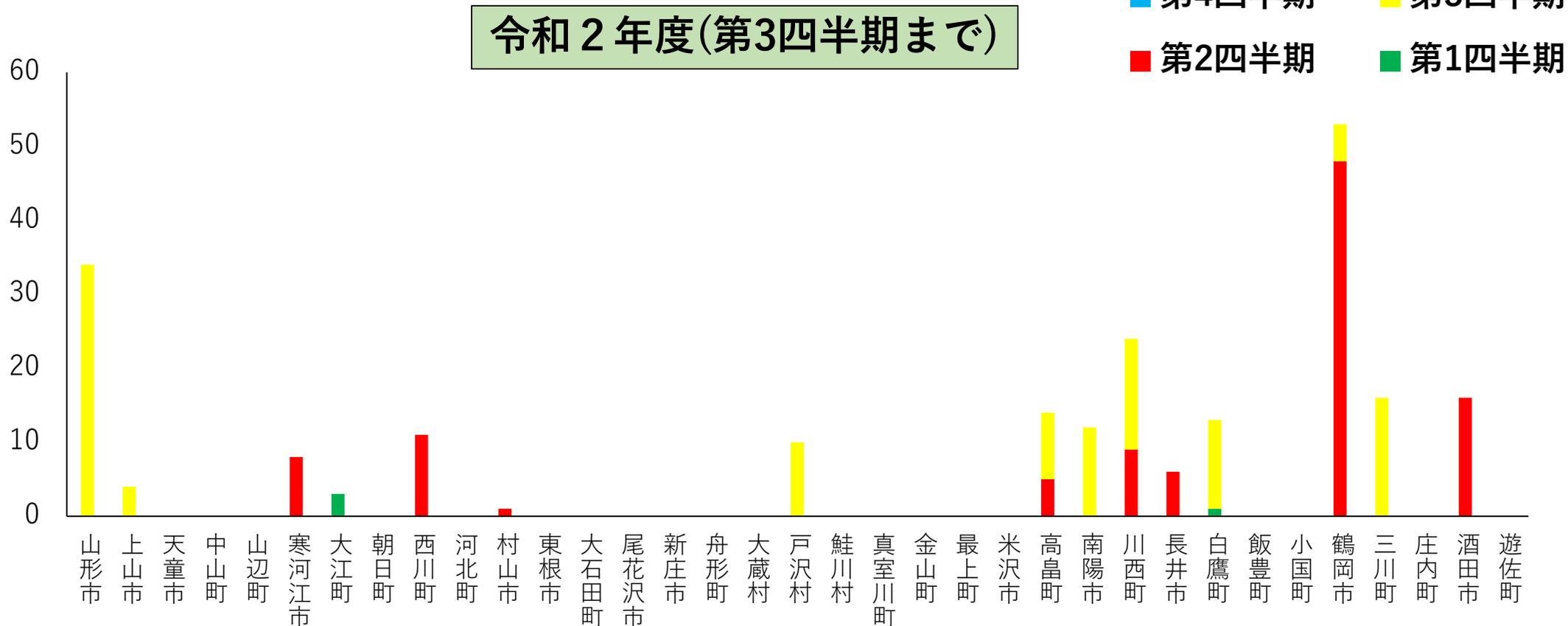


【状況と分析】

多くの市町村で話し合いを実施しており、第4四半期（冬場）の実施が多いが、第2四半期（夏場）に実施している市町村もある。

○ 話し合いの回数 ※開催の合計（重複あり）

(回)



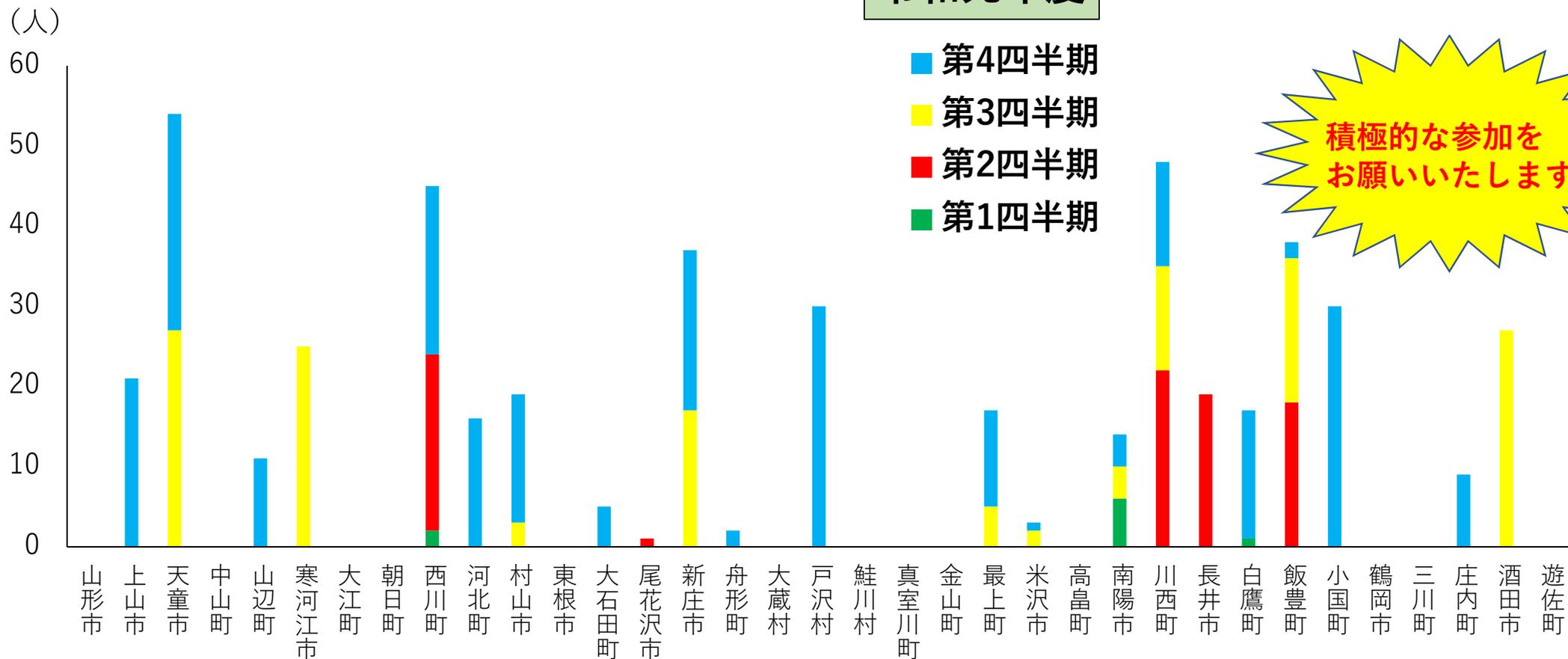
【状況と分析】

話し合いの傾向は同じであるが、令和2年度については、既に実質化済みの市町村も増えているほか、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要がある。

○ 委員の参加人数

※重複あり

令和元年度



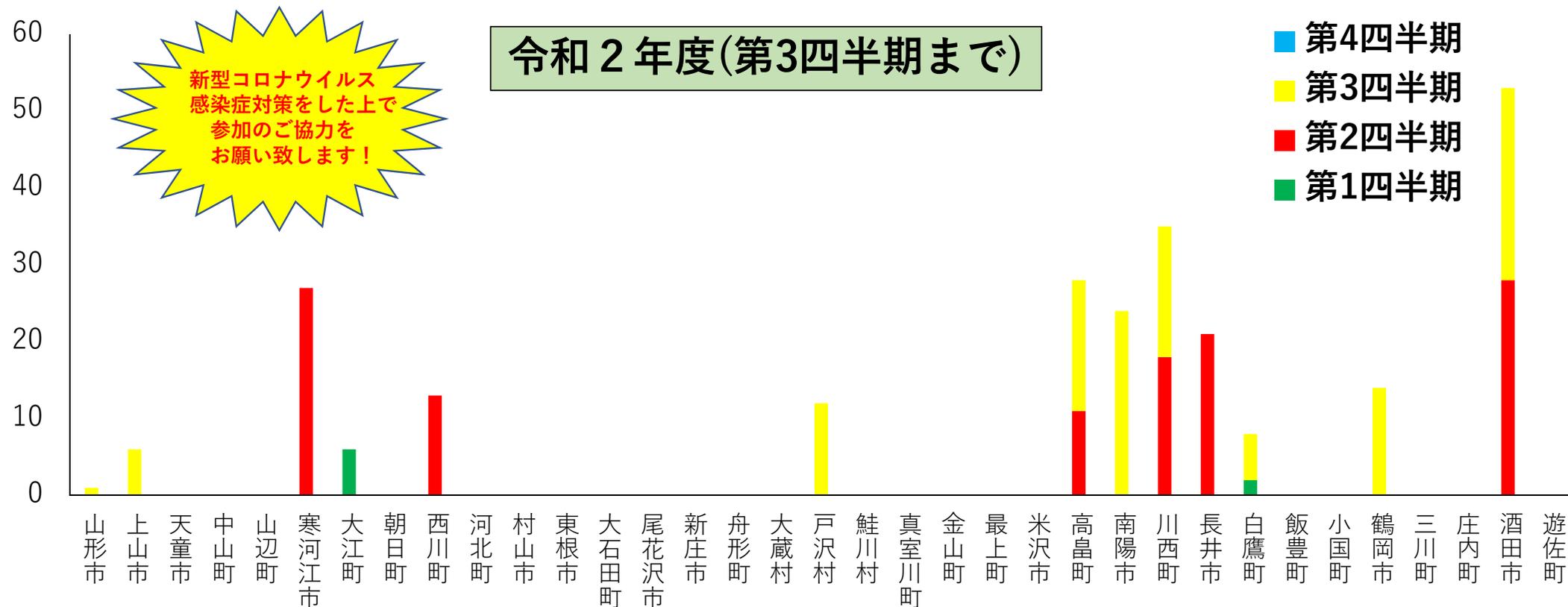
積極的な参加を
お願いいたします!

【状況と分析】
 多くの委員が参加している委員会もあれば、委員が全く参加していないところもある。一人の委員が複数回参加している委員会もある。

○ 委員の参加人数

※重複あり

(人)



【状況と分析】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、話し合いの実施が難しい状況の中でも、夏や秋にかけての参加が見られた。

(4) れいわスタートダッシュ集計結果・分析 (様式2・3)

市町村別集計

(平成31年4月～令和2年12月)

進捗状況共有シート「様式2・3」部分より



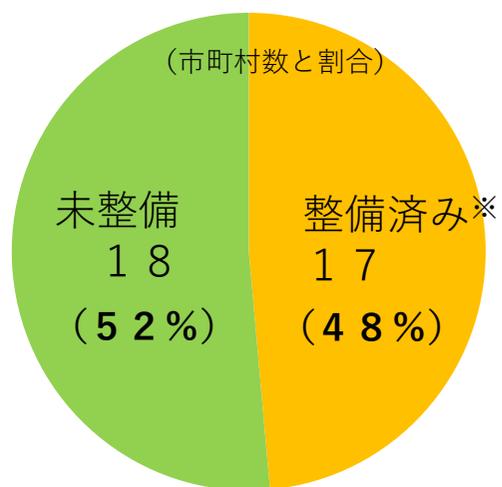
- ・ 推進体制の整備
- ・ 話し合いの数
- ・ 話し合いの結果 (集積)
- ・ 話し合いの結果 (集約)
- ・ 県内の人・農地プラン実質化の割合
- ・ 県内の人・農地プランのための話し合い活動の実施状況 20

○ 推進体制の整備

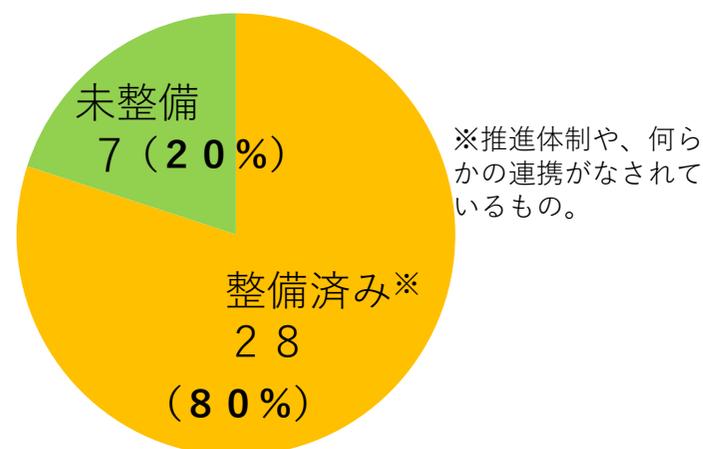


(令和2年12月末現在)

令和元年度末の整備状況



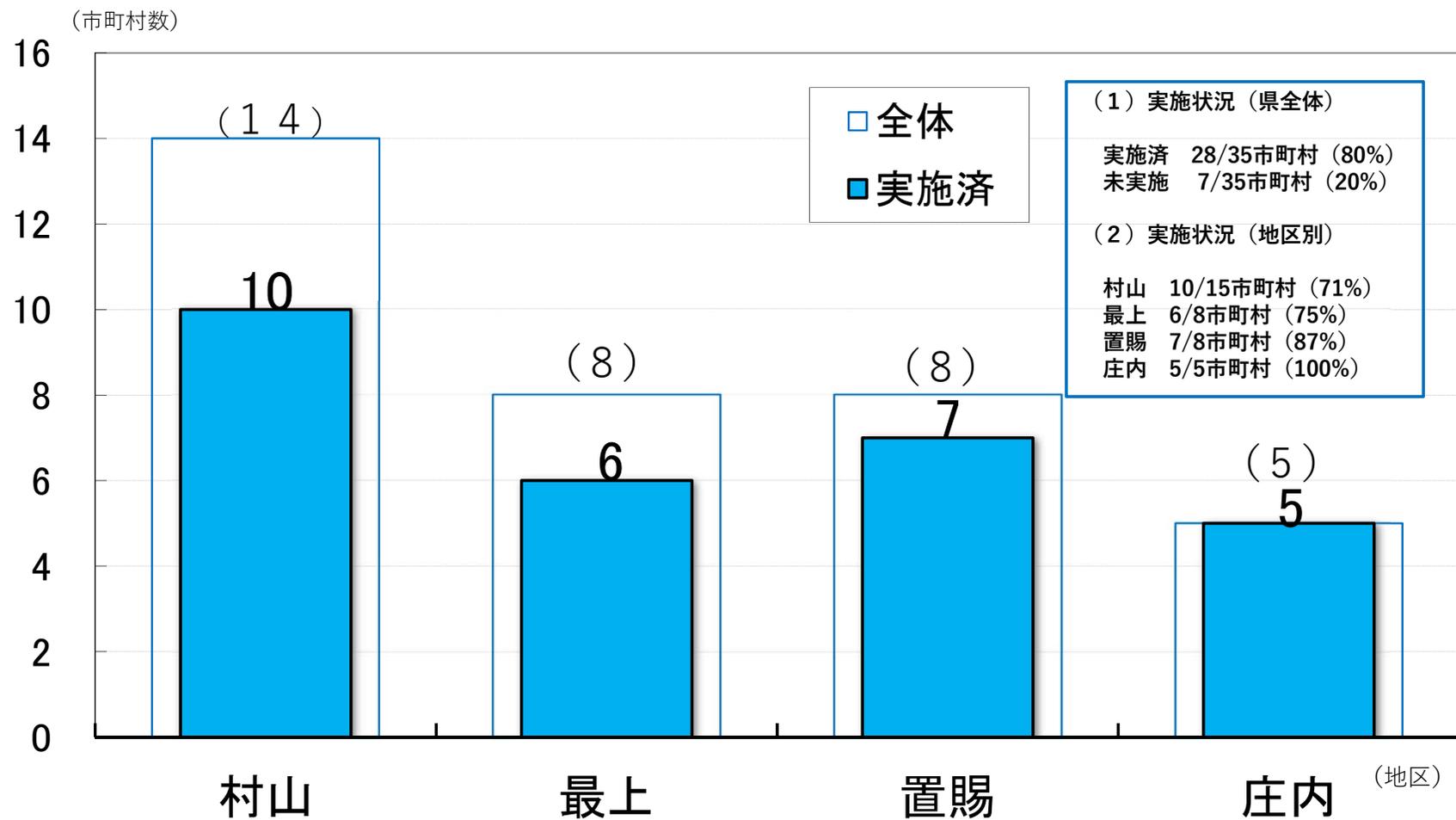
令和2年度第3四半期現在の整備状況



【状況と分析】

- ・ 令和元年度末に比べて、着実に推進体制の整備が進んでいる。しかし、未だに7市町村にて整備されていない。
- ・ 推進体制の整備は、実質化後のプランの実行においても重要なプラットフォームとなります。
- ・ 農林部局や農協、土地改良区、各地区の生産組合などとの推進体制の整備、連携を進めよう!

令和2年度 推進体制の整備への協力 実施状況(第3四半期時点)



<推進体制整備の事例>

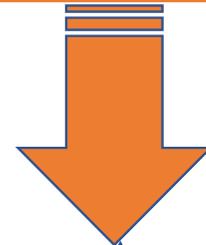
令和2年12月11日に農業委員会及び農林課と人・農地プランに関する会議を開催し、人・農地プランの実質化や実行の推進について協力体制を確認した。

(米沢市)

令和2年9月3日から9月10日にかけて開催された市内9地区の人・農地プラン及び農地中間管理事業推進会議に農業委員及び農地利用最適化推進委員が参加し、中心経営体の見直し等協議を行った。

(寒河江市)

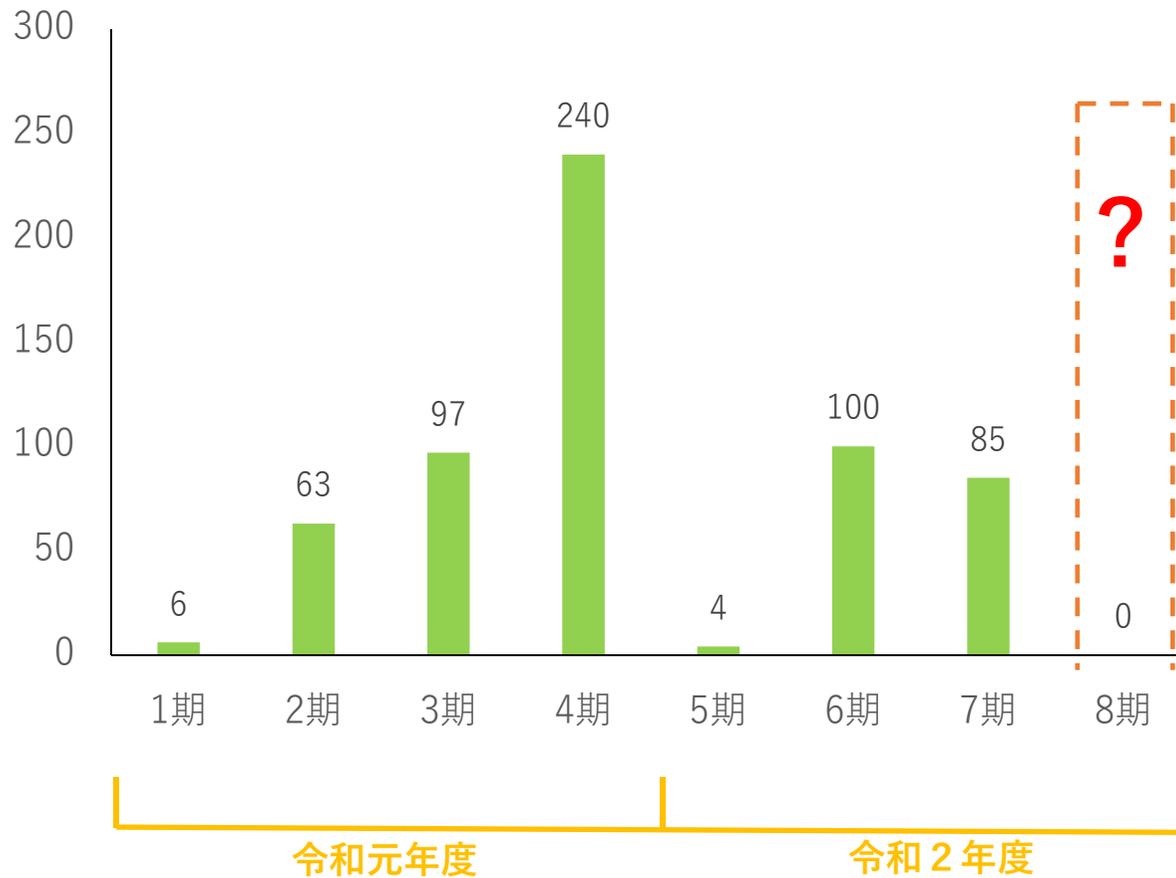
「人・農地プラン」を実質化し、実行に向けた取り組みを行っていく上で、推進体制の整備は**必須事項！！**



推進体制が**“未整備”**または**“未実施”**の市町村においては、事例を参考に**早急の体制整備を！！！！**

○ 話し合いの数

話し合いを行ったプラン数



県内の人・農地プラン数

578

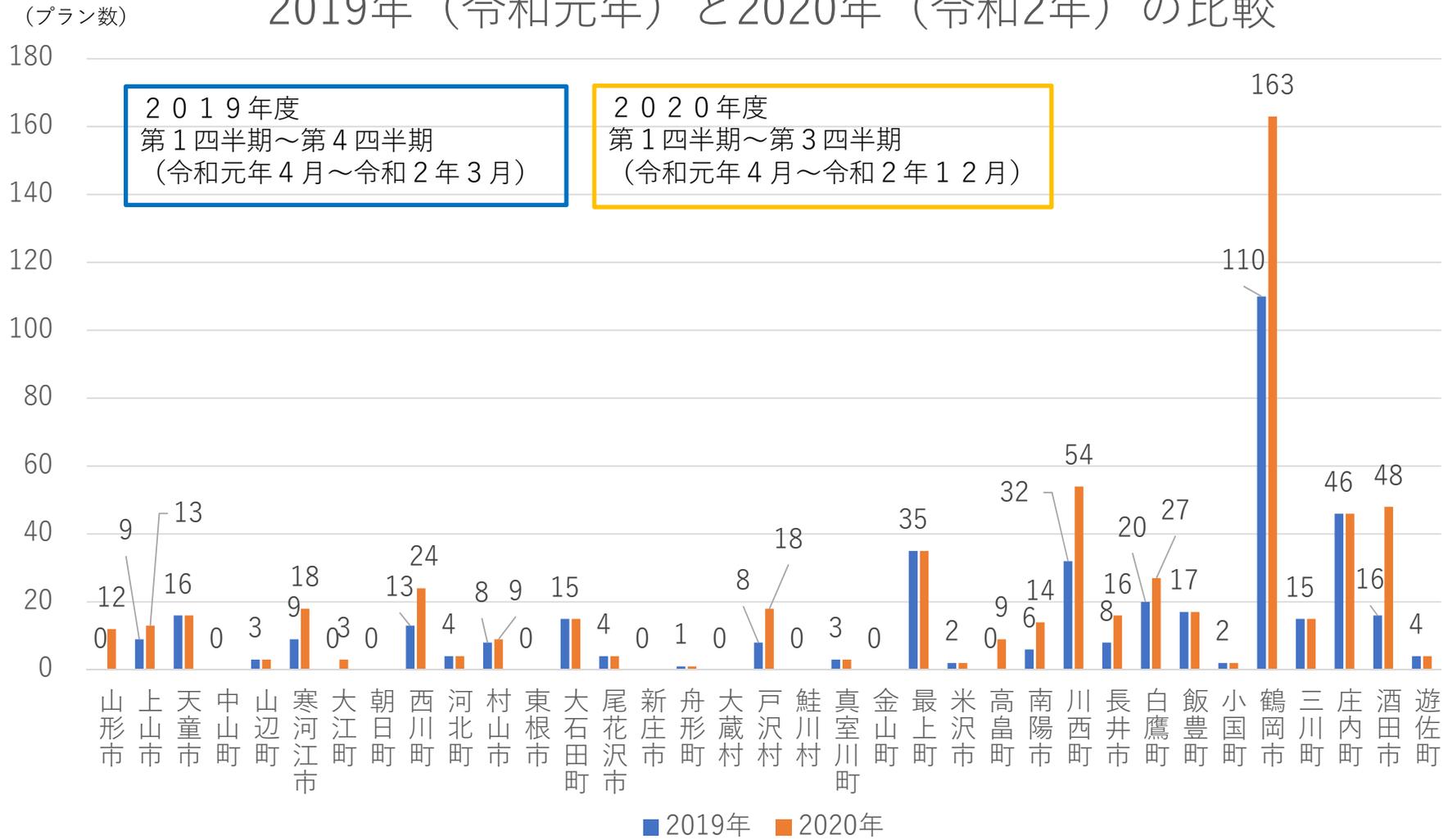
(令和2年12月時点)

【状況と分析】

- ・ 期を重ねるごとに着実に実施が重ねられており、農閑期である第4期に全体の約4割が実施されている。
- ・ 今後、8期にて実質化されていない地域を中心に話し合い活動を行う際には、コロナ禍における感染防止対策を施して実施することが求められる。

話し合いを行ったプラン数

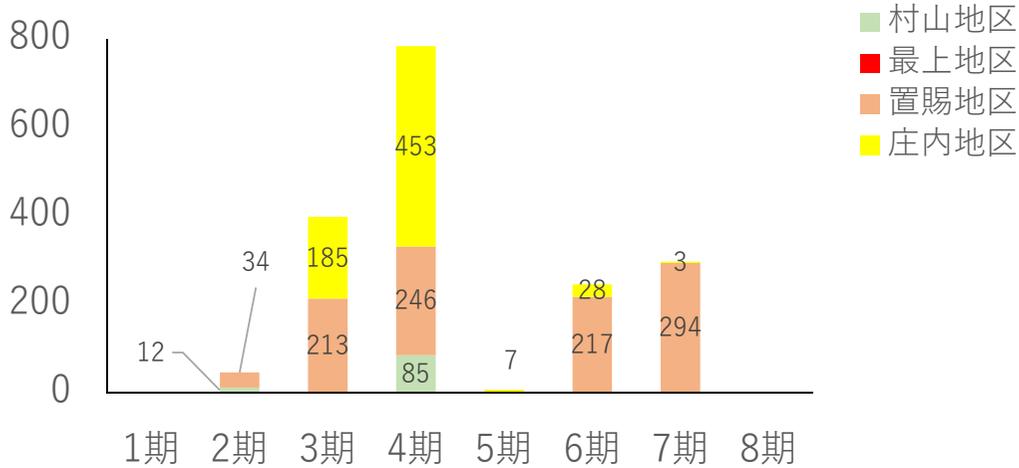
2019年（令和元年）と2020年（令和2年）の比較



○ 話し合いの結果（集積）

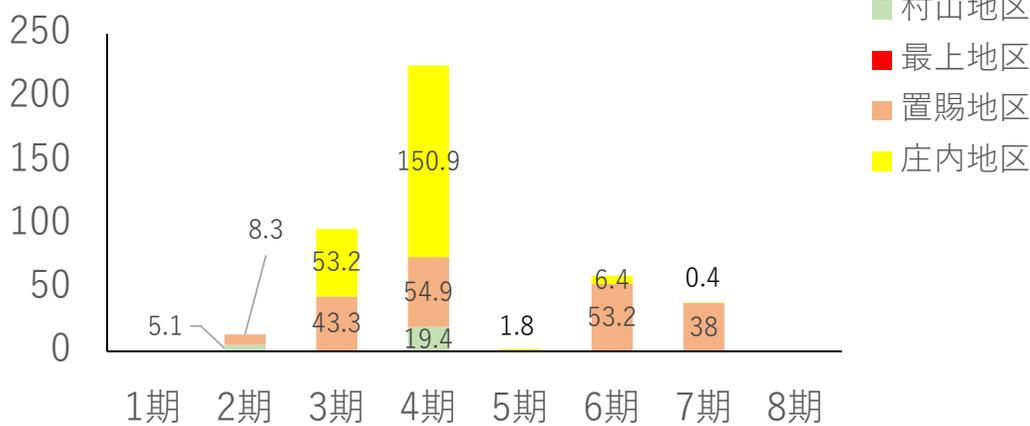


(筆) 話し合いの結果、集積に繋がった筆数



1期～4期（2019年度）
5期～8期（2020年度）

(ha) 話し合いの結果、集積に繋がった面積

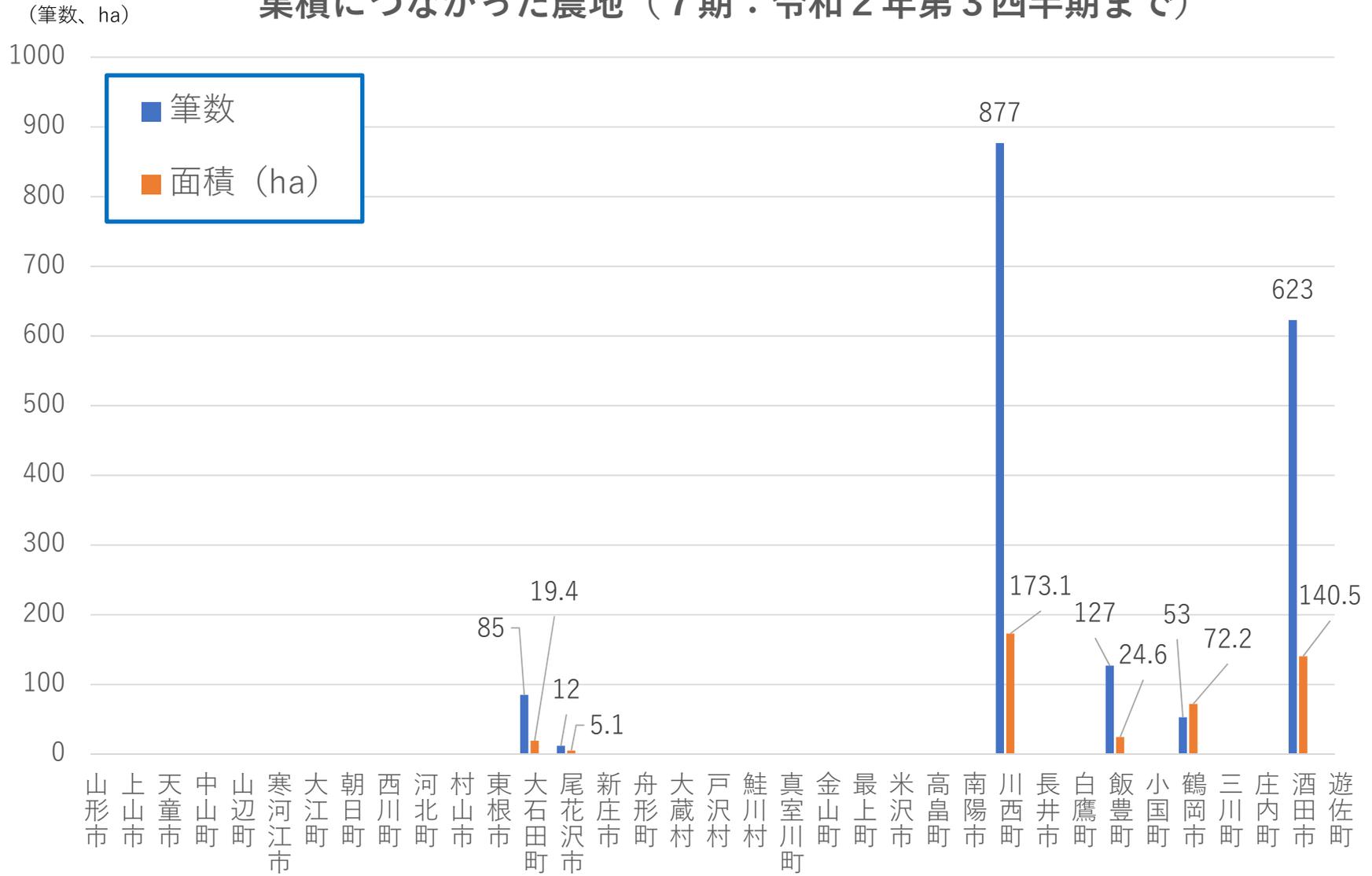


【状況と分析】

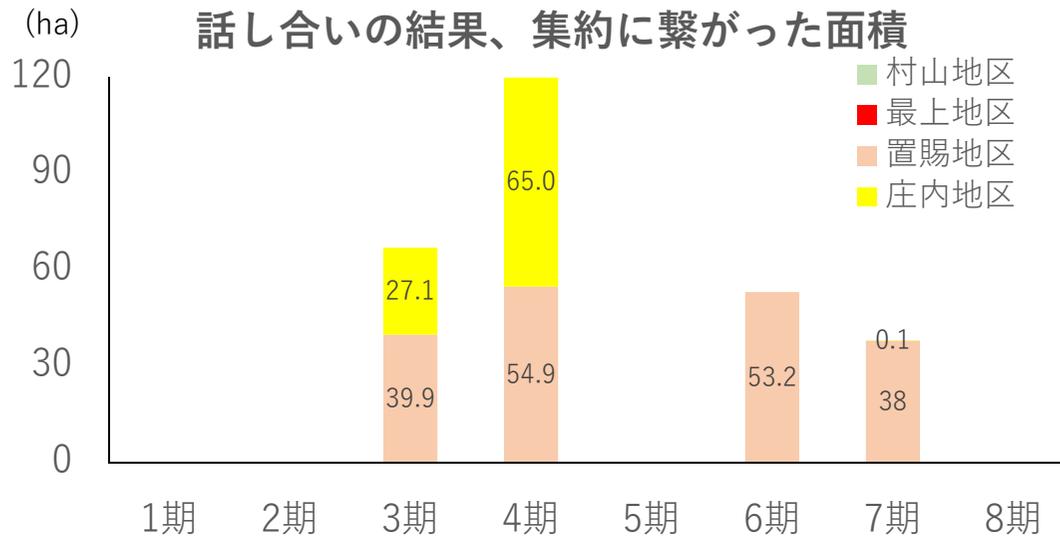
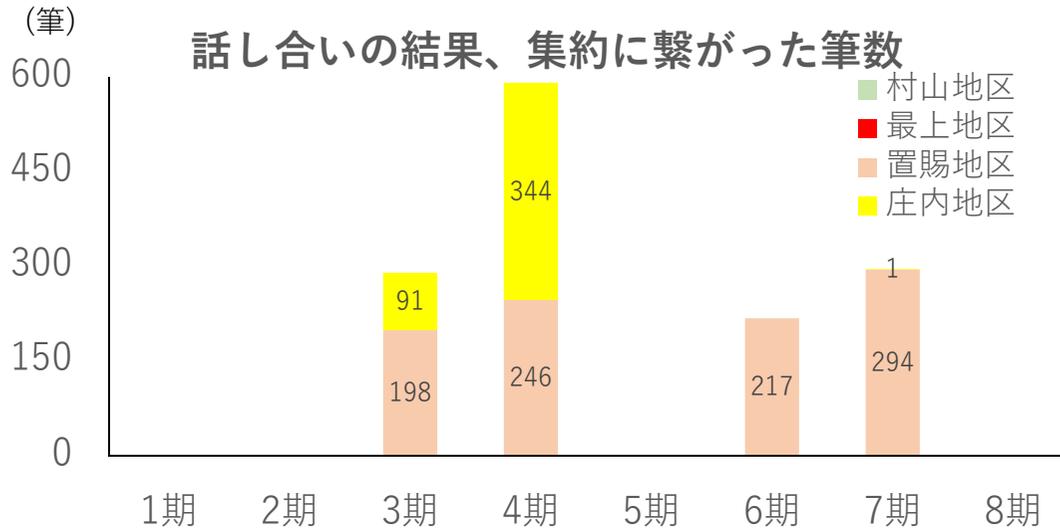
- 話し合いの実施に併せて、確実に集積に結びついている。
- 置賜地区、庄内地区が大きく集積。
- 最上地区における活動の促進を！！
- **7期までの期間で、1777筆 434.9haが集積。**
- **全体の約6割が4期（農閑期）に成果として表れている。**

※市町村別グラフは27ページ

集積につながった農地（7期：令和2年第3四半期まで）



○ 話し合いの結果（集約）



1期～4期（2019年度）
5期～8期（2020年度）

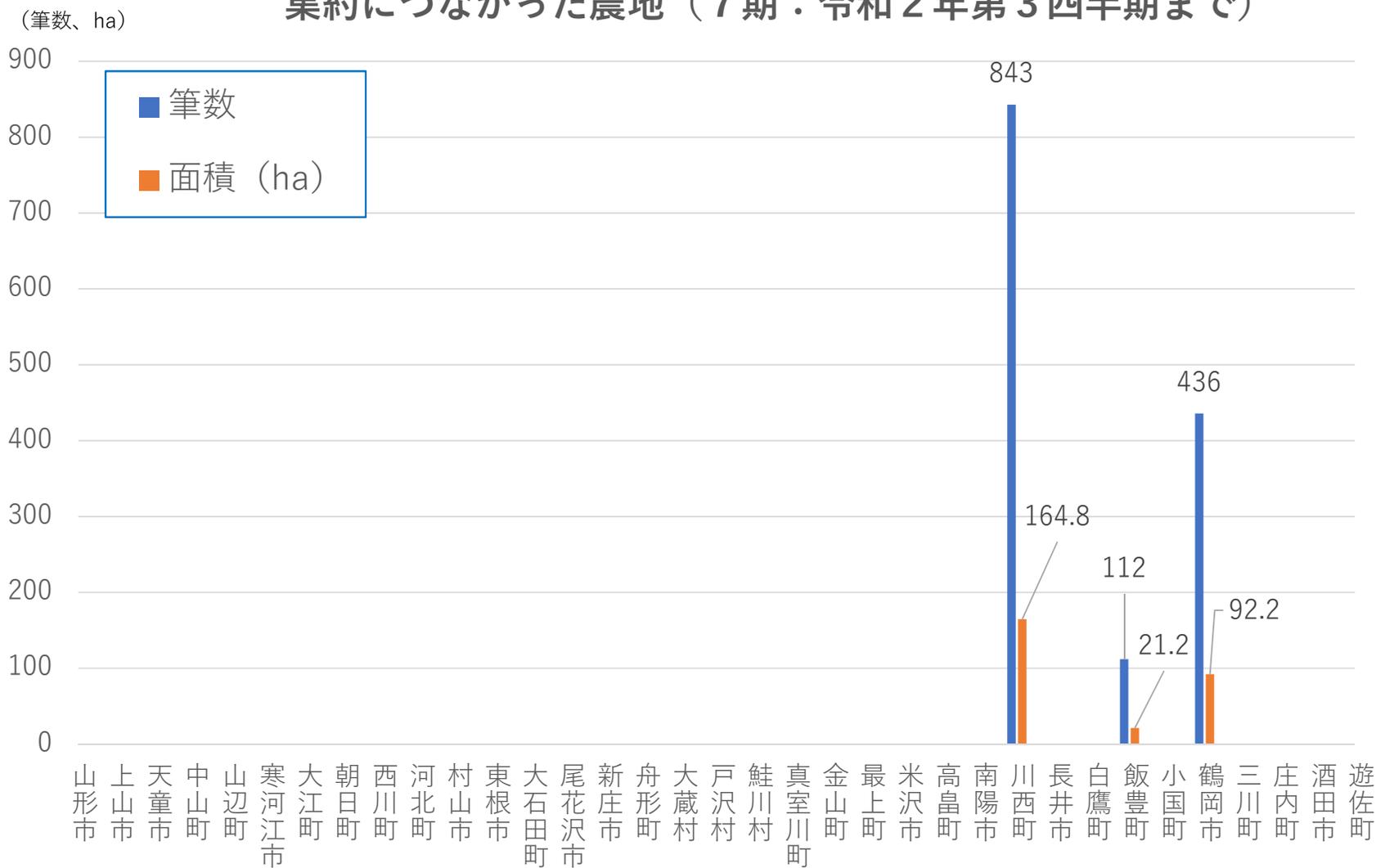
【状況と分析】

- 話し合いの実施に併せて、集積と同様に集約も結びついている。
- 集積と同様、置賜地区、庄内地区で大きく集約が進んでいる。
- 村山地区と最上地区における活動の促進を！！
- 7期までの期間で、1391筆 278.2haが集約。**
- 集約は難しい場合もあるが、「人・農地プランの実質化」を図ることにより確実に進んでいる。**

※集約は、同一の担い手が一連の農作業の継続に支障が生じない農地とする。

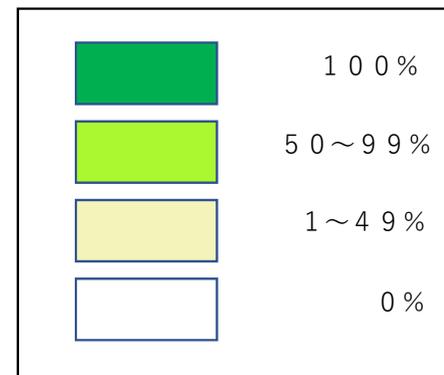
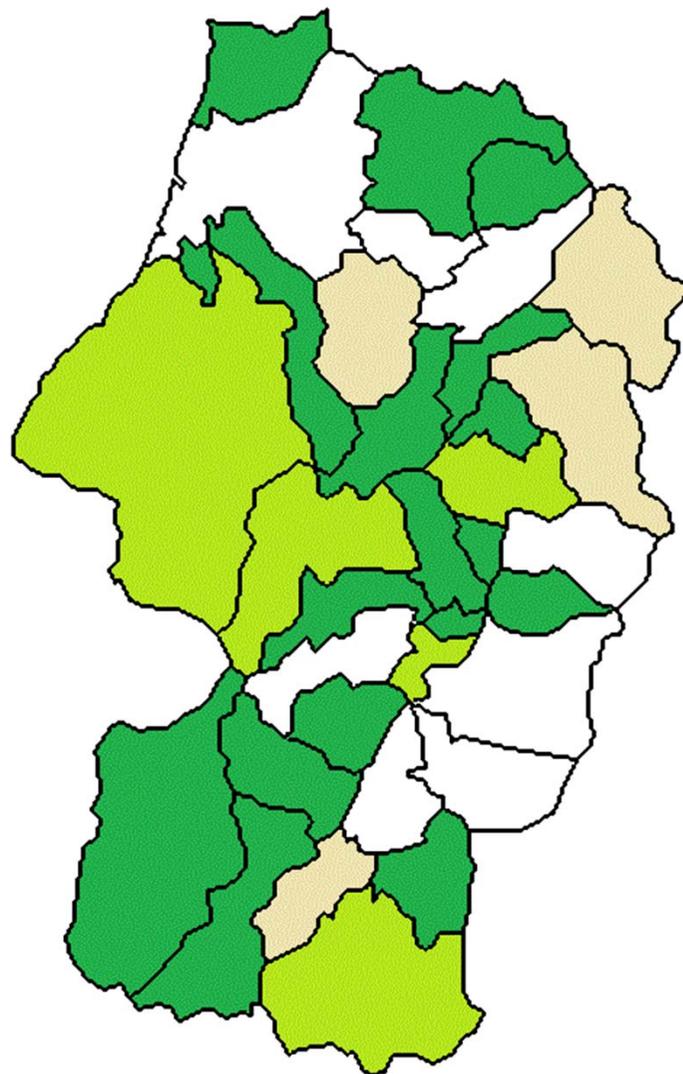
※市町村別グラフは29ページ

集約につながった農地（7期：令和2年第3四半期まで）



○ 県内の人・農地プラン実質化の割合（R2.12末時点）

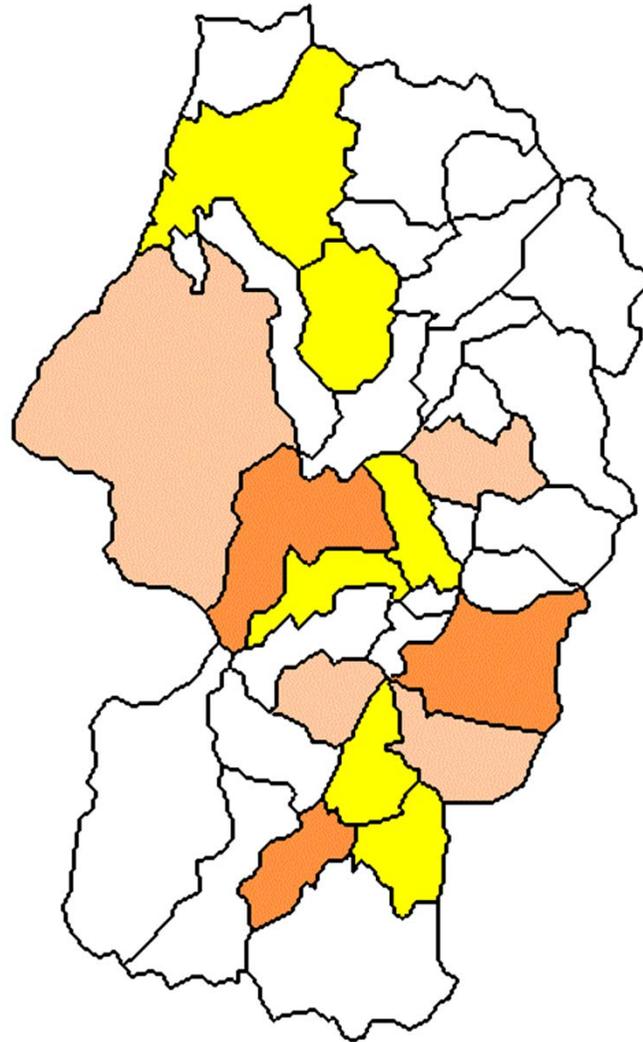
市町村別進捗状況			
市町村	達成率 (%)	プラン数	実質化済
山形市	0	18	0
上山市	0	9	0
天童市	100	8	8
中山町	100	1	1
山辺町	80	5	4
寒河江市	100	9	9
大江町	100	5	5
朝日町	0	3	0
西川町	75	12	9
河北町	100	4	4
村山市	50	8	4
東根市	0	8	0
大石田町	100	15	15
尾花沢市	26	35	9
新庄市	0	7	0
舟形町	100	4	4
大蔵村	100	1	1
戸沢村	40	10	4
鮭川村	0	12	0
真室川町	100	3	3
金山町	100	9	9
最上町	6	33	2
米沢市	73	11	8
高島町	100	13	13
南陽市	0	8	0
川西町	25	16	4
長井市	100	8	8
白鷹町	100	19	19
飯豊町	100	8	8
小国町	100	5	5
鶴岡市	96	190	182
三川町	100	15	15
庄内町	100	46	46
酒田市	0	16	0
遊佐町	100	4	4
合計		578	403



- ・プラン実質化率100%を達成した市町村は2つ増えて18市町村に！！
- ・実質化されたプラン数も、県全体で386プランから403プランに！！

○ 県内の人・農地プランのための話し合い活動の実施状況（R2.12末時点）

市町村	市町村別進捗状況			
	実施率 (%)	プラン数	話し合い活動を実施したプラン数	話し合い活動を実施していないプラン数
山形市	67	18	12	6
上山市	44	9	4	5
天童市	0	8	0	8
中山町	0	1	0	1
山辺町	0	5	0	5
寒河江市	100	9	9	0
大江町	100	5	5	0
朝日町	0	3	0	3
西川町	92	12	11	1
河北町	0	4	0	4
村山市	13	8	1	7
東根市	0	8	0	8
大石田町	0	15	0	15
尾花沢市	0	35	0	35
新庄市	0	7	0	7
舟形町	0	4	0	4
大蔵村	0	1	0	1
戸沢村	100	10	10	0
鮭川村	0	12	0	12
真室川町	0	3	0	3
金山町	0	9	0	9
最上町	0	33	0	33
米沢市	0	11	0	11
高畠町	100	13	13	0
南陽市	100	8	8	0
川西町	94	16	15	1
長井市	0	8	0	8
白鷹町	37	19	7	12
飯豊町	0	8	0	8
小国町	0	5	0	5
鶴岡市	28	190	53	137
三川町	0	15	0	15
庄内町	0	46	0	46
酒田市	100	16	16	0
遊佐町	0	4	0	4
合計		578	164	414



(R2年度中)



3 まとめ

8割の農業委員会が推進体制の整備を完了

→ あと2割、早急の整備を！！

第3四半期まで実質化したプランは403プラン！

→ 残り175プランの実質化に向けて
全力で取り組もう！！

そして、「実質化」から「実行」へ！

